

(8) 不安、関心、満足度

ア 悩みやストレスの有無 (Q56)

「現在、日常生活で悩みやストレスがあるか」についてみると、「大いにある」の割合は韓国で 22.5% と高いが、他の 4 か国ではいずれも 1 割未満と低い (2.6% ~ 7.7%)。

「まったくない」の割合が高い順にみると、スウェーデン (71.2%)、ドイツ (65.2%)、アメリカ (50.5%)、日本 (39.6%)、韓国 (29.5%) となっている。スウェーデン、ドイツ、アメリカでは、「まったくない」の割合が最も高いが、日本及び韓国のアジア 2 か国では、「少しはある」(日本 52.7%、韓国 48.1%) の割合が最も高くなっている。

(表 6 4)

(%)

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 1 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 5 回
1 大いにある					7.7					5.0				22.5			4.4	2.6
2 少しはある					52.7					43.0				48.1			30.4	26.2
3 まったくない					39.6					50.5				29.5			65.2	71.2

イ 悩みやストレスの内容（Q57）

「日常生活で悩みやストレスがある高齢者の、悩みやストレスの内容」についてみると、いずれの国でも割合が高いのは、「自分の健康や病気について」及び「子どもや孫の将来について」である。また、韓国では、「生活費について」の割合が他の4か国に比べて高い。

国別にみると、日本では、上位から順に、「自分の健康や病気について」（48.8%）、「子どもや孫の将来について」（27.0%）、「同居している家族の健康や病気について」（22.6%）となっている。

アメリカでは、「自分の病気や健康について」（42.8%）、「同居している家族の健康や病気について」（31.0%）、「子どもや孫の将来について」（30.6%）となっている。

韓国では、「自分の健康や病気について」（56.0%）、「生活費について」（41.7%）、「子どもや孫の将来について」（30.6%）となっている。

ドイツでは、「自分の健康や病気について」（48.9%）、「子どもや孫の将来について」（31.0%）、「同居している家族の健康や病気について」（21.4%）となっている。

スウェーデンでは、「子どもや孫の将来について」（45.8%）、「自分の健康や病気について」（38.5%）、「同居している家族の健康や病気について」（30.6%）となっている。

（表65） （日常生活で悩みやストレスがある方に）○付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 家族との人間関係について					18.9					24.9				23.1			12.4	6.9
2 友人・知人との人間関係について					9.0					6.7				2.4			3.6	3.8
3 話し相手がいないこと					3.9					6.2				2.7			4.7	4.9
4 生活費について					19.0					25.8				41.7			16.8	16.3
5 自分の介護について					13.9					21.8				15.9			16.2	16.3
6 自分の健康や病気について					48.8					42.8				56.0			48.9	38.5
7 同居している家族の健康や病気について					22.6					31.0				23.7			21.4	30.6
8 家族や親族に対する介護について					8.2					13.5				6.5			5.8	9.4
9 遺産相続について					3.6					3.1				0.4			4.4	9.7
10 子どもや孫の将来について					27.0					30.6				30.6			31.0	45.8
11 その他					6.3					11.2				2.5			12.4	11.5

ウ 高齢者に対する重要な政策や支援（Q58）

「高齢者に対する政策や支援で大切だと思うもの」についてみると、いずれの国においても「公的な年金制度の充実」（日本 67.8%、アメリカ 76.2%、韓国 58.6%、ドイツ 87.0%、スウェーデン 85.6%）の割合が最も高い。このほか、いずれの国においても割合が高いのは、「医療サービスの整備、充実」（50.6%～63.7%）、「介護や福祉サービスの整備、充実」（32.7%～59.9%）である。

韓国では、「働く場所の確保」（47.3%）が他の4か国に比べて高い。

また、ドイツとスウェーデンでは、「事故や犯罪防止の対策」（ドイツ 41.5%、スウェーデン 44.5%）、「高齢者向けの住宅の整備、充実」（ドイツ 38.7%、スウェーデン 37.5%）、「高齢者の人権について一般市民への理解」（ドイツ 35.5%、スウェーデン 31.4%）が他の国に比べて高い。

スウェーデンでは、「高齢者に配慮した街づくり」（43.9%）や「ボランティア活動や学習のための場の確保」（33.3%）も他の国に比べて高く、高齢者が大切だと思う施策や支援が多いことがわかる。

（表 6 6）

○ 付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 働く場所の確保					30.6					33.3				47.3			24.5	11.8
2 公的な年金制度の充実					67.8					76.2				58.6			87.0	85.6
3 老後のための個人的な財産形成の充実					23.1					24.5				14.3			25.1	24.5
4 医療サービスの整備、充実					57.3					62.8				50.6			52.6	63.7
5 介護や福祉サービスの整備、充実					54.1					32.7				45.2			55.9	59.9
6 ボランティア活動や学習のための場の確保					15.7					9.2				14.7			21.1	33.3
7 高齢者向けの住宅の整備、充実					23.5					19.2				21.6			38.7	37.5
8 高齢者に配慮した街づくり					33.2					12.0				27.3			31.2	43.9
9 事故や犯罪防止の対策					23.1					14.0				12.3			41.5	44.5
10 高齢者の人権について一般市民への理解					18.4					10.5				13.8			35.5	31.4
11 その他					2.2					1.8				0.8			1.3	1.1

エ 生活の総合満足度（Q59）

「現在の生活に満足しているか」についてみると、「満足している」の割合が最も高いのは、アメリカ（70.3％）、スウェーデン（59.5％）であり、「まあ満足している」の割合が最も高いのは、日本（62.9％）、韓国（50.0％）、ドイツ（59.1％）であった。

また、韓国では、「やや不満である」及び「不満である」がそれぞれ29.2％及び8.6％と、他の国に比べて高い割合となっている。

「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は、韓国（62.2％）を除く4か国では約9割となり、ほとんどの高齢者が満足感を感じている（日本85.2％、アメリカ94.9％、ドイツ92.4％、スウェーデン98.5％）。

前回調査と比較すると、「満足している」はアメリカと韓国で増加しており、日本とドイツは減少している。

（表67）

（％）

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 満足している				29.8	22.3				47.8	70.3			7.5	12.2		52.2	33.3	59.5
2 まあ満足している				57.5	62.9				41.5	24.6			54.6	50.0		35.5	59.1	39.0
3 やや不満である				11.0	12.2				8.0	2.9			29.1	29.2		9.6	6.8	1.1
4 不満である				1.5	2.6				1.5	0.9			8.9	8.6		1.8	0.9	0.4